



女性委員会だより



～秋田県建築士会 H26 年度活動報告～

東北ブロック女性委員会秋田大会に参加して

横手支部 松井 幹子

「再生へ～これから向かう先」というテーマで開催された東北ブロック女性委員会（秋田大会）私が女性委員会に入り初めての大会イベントに参加することになりました。

開催地は地元横手。そして再生というテーマにふさわしく昔の建築文化を現代に観光という形で引き継ぎ再び光を浴びた増田での開催は皆さんに増田の魅力を伝え成功させたいという思いも深く感じました。

微力な私には何ができるのか最初から不安ばかりでしたが、先輩方の細かなところまで目が行き通った段取り、スムーズな進行の仕方に学ぶべきことが沢山ありました。様々な実績を積み重ねてきた力の表れなのだなど敬服し、自分もこれからの女性委員会において少しでも力になれるよう難しいことでも挑戦し取り組んでいかなければいけないと

自分を見直すいい機会にもなりました。

この大会では素晴らしいプレゼンテーションを聞いたことはもちろんですが、私が印象深かったのは懇親会で輪になり踊った盆踊り。この時は皆の気持ちが一つにまとまったような気がしました。

そして内蔵見学では生き生きとした表情で蔵の町を楽しんでくれている様子で、皆様の笑顔や手を振ってくる姿が目に焼きついています。

きっと女性部、青年部、皆さんの団結力、普段からの交流があったからこそまとまりが発揮され、思いの伝わったおもてなしができた結果かと思えます。

私も東北の素晴らしい頑張っている女性建築士の皆さんと交流を持てましたことにこの東北ブロック大会に参加できたこと感謝いたします。



東北ブロック秋田大会に参加して

仙北支部 小林 凡子

今回初めて東北ブロックに参加させて頂きました。

初日のシンポジウムでは、基調講演及びパネルディスカッションより、「再生へ」をテーマにこれから向かう先について、様々な視点からの「再生」について学ばせて頂きました。

2日目の増田内蔵の視察では、先輩建築士の皆さんと一緒に周らせてもらうことで、自分自身では気が付かなかった点についても発見することができました。増田の歴史と文化への理解が深まりとても

勉強になったと感じると共に貴重な体験をさせて頂いたと感じています。

また、懇親会での増田の盆踊り、私には難易度が高すぎて練習時にはどうなる事かと心配でしたが、その心配とは反対に会場全体が盛り上がり、和気あいあいとした雰囲気の中でとても楽しかったです。初めて女性委員会の大会の魅力に触れ、どの場面を思い返してもとても有意義で心に残る2日間でした。

第57回建築士会全国大会「福島大会」に参加して

秋田中央支部 土田久美子

支部女性の参加者はアクシデントもあり4名と少なかったが、震災復興をめざす福島大会であり、ブロック会のお礼も込めてぜひ参加したいと思っていた。

車中、竹田さんか仕事連絡のため席を立つシーンはあったものの、会のよもやま話をしながらの二人旅となった。

会場に着いてまずは腹ごしらえ。喜多方ラーメン、会津のこ汁等福島の味を十分堪能し、基調講演会場へ。レーシングカーに込める情熱と研究心が大きな夢を叶える原動力になるといった内容だった様な、、、、、、（船を漕ぎながらだったので）

大会式典では、中央支部が一堂に会し、大嶋由鶴さんの栄えある表彰を祝福した。

支部恒例の懇親会。豊富な食べ物とお酒におおいに盛り上がったのはゆうまでもない。

何年後にくるだろう秋田大会には向け「後はおめがださまがせだど」とハッパをかける先輩たちに、酔いが回っていたとはいえ、それに応える若者たち。中央支部もまんざらでもないなと心強く感じたのは私だけではないと思う。

次の日は、ルネサンス様式を取り入れた「天鏡閣」と檜等の高級木材を使用した純和風の「迎賓館」の相対した2つの建物を見学した。（いずれも国重要文化財）

妃殿下の安息所にふさわしい典雅にして格調高い迎賓館は釘隠しに意を凝らし、床框や襖類の縁全て朱漆塗りをを用いる等、柔らかなたたずまいを醸し出している。

説明者の方は雪深いこの地でいかに保存していくか、手入れの重要性を話しておられた。全国大会の醍醐味は何と言っても「地場の食と文化に触れ、全国の友人と会える」に尽きと思う。

来年は石川県金沢で開催されます。ぜひ、貴方も一緒に参加しましょうよ。

笹かまぼこを口にほおぼりながら、帰路についたとても楽しい1泊2日の旅でした。



全国女性建築士連絡協議会「気持ちのいい家」活動発表を終えて

秋田中央支部 竹田 青子

「迎え来たよ」「えっ！今何時」「6時15分」上飯島駅6時36分発間に合わない。「こまち7時14分だから、秋田駅まで行こう」こまちに乗るまで、猛ダッシュ。何とか飛び乗り、こんな感じでの出発でした。東京までの4時間は、おしゃべりしながらあっという間に着いちゃいました。

活動発表は、ぶっつけ本番な所があり、聞いている方達にうまく気持ちが伝えられたか、不安でしたが、宮城建築士会の星さんに、「聞きやすかったよ」と社交辞令かもしれませんが、言ってもらえてほっとしました。発表にあたり今回、秋田県各支部の委員長に活動についてのアンケートを行い、開催した全支部で開催してよかった。という回答をもらいました。また、会員の絆が深まった、他支部会員との距離が近くなった。結びつきが深まった。等々、嬉しい声も聞くことができました。

PDF作ってくれた戸嶋委員長。何度も添削してくれた土田元委員長。発表前に気持ちを楽にしてくれた柳谷さん。感謝です。その夜（秋田から行った4人）の懇親会も、とっても有意義で楽しかったです。

次の日『高齢社会と福祉住宅』テーマの分科会に参加しました。より良い住環境を実現するために、他県の建築士の方々の意見を聞き、また、意見を発表することで、とてもよい経験と勉強をさせていただきました。ありがとうございました。



第 39 回 秋田県建築士会鹿角大会 平成 26 年 11 月 8 日 (土)

由利支部 阿部功子

今年度から、青年大会を改め建築士大会となり、今までとは趣の異なる大会となりました。今大会のテーマは「時を越えて未来に残すべき遺産」～歴史的建造物の保全活用と建築士の新たな取組みについて～です。

はじめに、建築家で東京建築士会会長の中村勉先生の基調講演がありました。「東北地方の歴史を軸とした建築・まちづくり」というテーマで、まちづくりには地域の特性をよく知ること、古い建物を大切に残していくことが重要等、県内の事例をもとに話されました。

各支部からは、歴史的建造物とその活用のされ方について発表があり、行政が関わり上手に活用されているところが多くありましたが、資金的に厳しく、維持保全、修繕が難しい等、課題も多く挙げられました。

パネルディスカッションでは、鹿角市の旧関善酒店の前所有者である方の率直な意見を聞くことができ、改めてまちづくりには住民と行政、建築関係者の関わり方が大切だと感じました。また小坂町観光産業課長さんによる、小坂鉦山の観光資源としての活用についてのお話もあり、それぞれの立場の意見を聞くことができるよい機会でした。

県内には多くの歴史的建造物が残されていて、それぞれ課題もありましたが保存活用されている建造物を実際に見に行きたいと思いました。

・・・今回、由利支部からは矢島の城下町について発表しましたが、次回の親子体験学習後の見学会予定地となっておりますので、皆さんぜひお越しください。

親子体験学習「気持ちのいい家をつくろう」 in 鹿角

鹿角支部 石木田 麻梨子

秋田県建築士会主催の親子体験学習「気持ちのいい家を作ろう」 in 鹿角を開催して、改めて、私たちの日頃の建築士としての活動を、どの様に同じ志の人達と共に一般の人を支えて、理想の家づくりが出来か否かを考えるきっかけが出来ました。

建築に関わり、人々の安全を守るシェルターとして、又一日の疲れをいやす空間として様々な観点から家というものづくりをする際に、個々の想いが盛り込まれたものがそこに存在してくる。

これからも老若男女の人々にこんな家を作りたいかった!!の希望の手助けを続けてゆきたい！そして多くの人の気持ちが判る為にも沢山の人々と絆を深めて！

日々の仕事に追われる時、このようなイベントを通じて、建築士の仲間づくりの大切さを有りがたさを痛感して、これからの委員会活動に積極的に参加協力して学んでゆきたい。

H26 年度 活動内容一覧

- | | | | |
|------|---|------|--|
| 4 月 | 第 1 回東北ブロック会女性委員会(委員長) | 11 月 | 秋田県建築士会鹿角大会 (旧青年大会)
親子体験学習「気持ちのいい家つくろう」 |
| 6 月 | 第 1 回幹事会・平成 25 年度女性委員会会議
第 1 回学習会
「東北ブロック女性委員会秋田大会ミテイング」
意見交換会 | 2 月 | 第 2 回幹事会
第 3 回学習会「建築士会に入って良かった事」
「ビジネス・接遇の基本マナー」
意見交換会 |
| 7 月 | 建築士の日 住宅相談・意見交換会 | | 全国女性建築士連絡協議会東京大会活動発表
「親子体験学習 気持ちのいい家をつくろう」 |
| 9 月 | H26 東北ブロック女性委員会秋田大会
見学会 (増田の蔵) | その他 | LL 財団住宅相談会相談員派遣
住宅新築リフォーム講座の企画・運営
「秋田の住宅コンクール」審査員
秋田県立図書館協議委員 |
| 10 月 | 建築士会全国大会ふくしま大会 | | |

雄勝支部

11/13～14 に東京のパナソニックショールームとビックサイトでのジャパンホームショーを視察に行き参りました。地球温暖化防止に向けての未来型の対省エネのプレゼンテーションを視覚的に又肌に触れて経験し、非常に勉強になりました。自動車、電気、ガス石油機器、家電、OA 機器、住宅、ビル、集合住宅、団地等、大きな視野で考えることができ行ってよかったです。無農薬、有機農法の野菜をキッチンの中で育て、声でポトフが食べたいと言うと、レシピがキッチンカウンターに映し出され、簡単に料理ができたり、寝室で鏡に映った自分の顔から、体の状態が数値ですぐに出てくるなど、本当に興味深いものでした。

仙北支部

11/8 大仙市で公文書館設置のシンポジウムが開催され参加してきました。子供たちがなくなった学校をどう活用していくのか。同市ではアーカイブズ事業が始動しています。どの程度の設備？予算は？どうすれば有効に利用できるのか？難問ばかりのように感じました。一方、史料等の写真や積文を解りやすく展示することで、将来を担う子供たちが、公文書に興味を持ち、郷土を好きになってもらえたら、と小さな希望がもてたシンポジウムでした。(子供の頃、博物館や図書館に行ってワクワクしたように。)



横手支部

毎年横手市で主催している「つくってあそぼう」へ参加しました。(9月27日平鹿町で開催) 折り紙工作と網代網です。

北秋支部

若手が2人入会しました！楽しんで参加してもらえるようにがんばります♪
「ブログ」サボリ気味ですが見て下さいね。

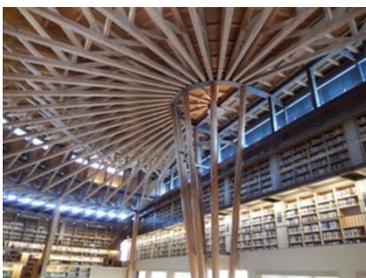
秋田中央支部

12月21日、女性部会の学習会を行いました。今回は、電気的设计をされている進藤さんを講師に迎え、ハンダゴテを使っての工作教室です。子供のように真剣に取り組み、みんなが見事に完成させました。



由利支部

由利支部では「森と木の国あきた 木造施設見学会」を6月28日に実施し、秋田空港ターミナルビル(内装木質化)と国際教養大学の図書館の見学に行ってきました。空港では木材のあたたかみを再確認。そして国際教養大学では秋田杉の梁の美しさに魅了させられました。木材を再発見できた講習会でした。



編集後記

今回は各支部の活動ひとことも載せてみました。H26年度も盛りだくさんの活動、皆様お疲れ様でした！(北秋支部 安達)

【委員長】戸嶋真紀子(仙北)【副委員長】伊藤加久子(秋田中央委員長)小松奈美(仙北委員長)安達真由美(北秋委員長)【幹事】松井幹子(横手委員長)佐藤全子(雄勝委員長)石木田麻梨子(鹿角委員長)阿部功子(由利委員長)藤嶋秀美(北秋)竹田青子(秋田中央)工藤秀子(秋田中央)佐藤榮子(秋田中央)藤田晶子(仙北) 会員数66名(3月31日現在)

『女性委員会だより』発行：平成27年4月 発行者：一般社団法人秋田県建築士会女性委員会